

SUPPLY BAUM

資源の供給と、未来の人を育てる家

【Supply】 地域に資源を供給
【Surprise】 川崎町での自然体験
【Supplier】 消費者から供給者へ

宮城県柴田郡川崎町
敷地：宮城県柴田郡川崎町前川六方山3

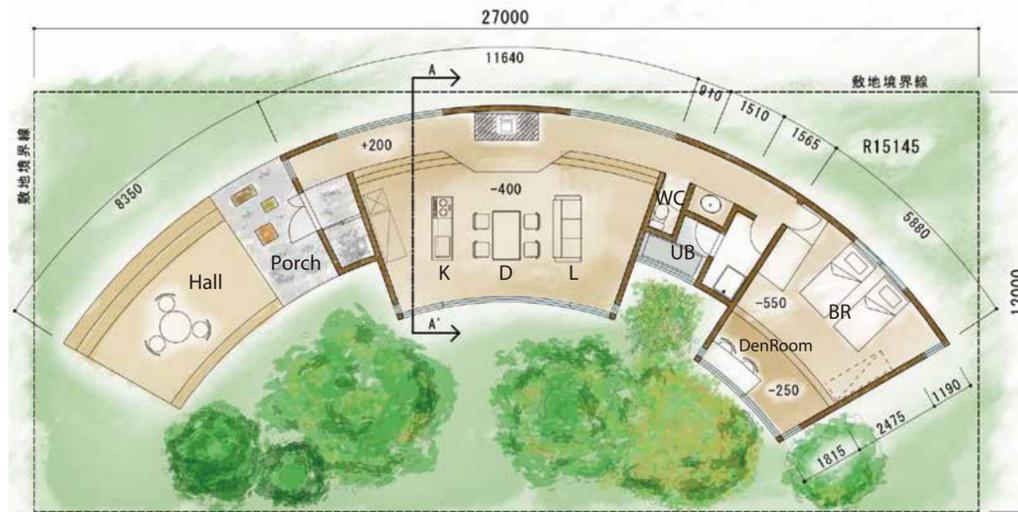


加工の手間を**学び**として活用し、**人を育て**、自給自足の**エネルギー循環**を生む仕組みづくりを担う住居
川崎町の将来像である「**人と自然が息づく美しい町**」を実現するため、自然の魅力を**発信**し、
まちの**エネルギー供給**を担う重要な役割を果たす。

住宅のしくみ

川崎町の暖炉を使う住宅や宿泊施設が多い点に目を向け、薪という資源を通して、まちにとって必要不可欠な供給源としてこの住居が成り立って欲しいと考える。

「川崎町の資源を活かす会」が運営する、伐倒講習会で出た木材を、この住宅で薪に加工し、地域に販売提供する。薪に加工する過程をひとつの体験会として、この住宅が企画運営する。普段自然に触れたことがない人や、宿泊客をターゲットに、エネルギー自給について学び、環境について考える未来の人を育てる狙いがある。



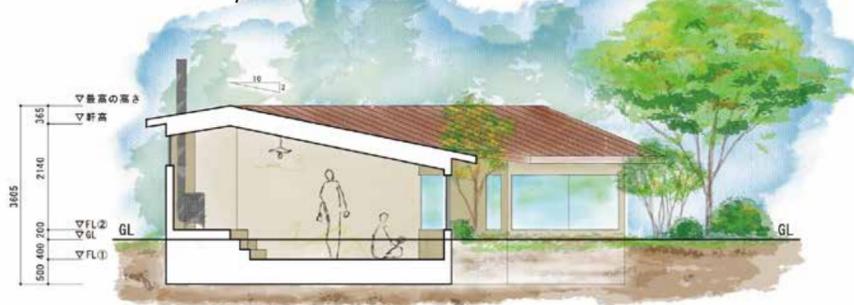
平面図 S=1/100

住居の紹介

サプライバームの、バームには住居のバームクーヘンのような特徴的な形状と、ドイツ語で樹木を意味する、「Baum」が関係している。この形は、豊かな自然をやわらかく包み込むようなイメージと、どこに居ても室内に南の光と緑を取り入れる狙いがある。

森の中の隠れ家のように落ち着きある住居にする為、家の高さを抑え、主要な生活空間を半地下のように下げている。目線が地面と近くなり、外を覗いたときに、まるで巣穴から外を眺める動物のような感覚になるよう設計を行った。屋根の高さを南の開口に向けて下げることで、外を見た時の開放感とのギャップを演出している。西側の屋根付きテラスでは、薪割り体験や、環境講習会などを行うオープンな場所として活用する。

A-A' 断面図 = 1/50



土地の特徴

川崎町は山々に囲まれ、温泉や森など豊かな資源溢れるまちである。コテージやゲストハウスといった、宿泊施設や別荘なども多数点在し、観光地として知られ、まちの外れから訪れる人も多い。一方で、深刻な高齢化が進み、まちの人口は減少の一途をたどっている。

これらを踏まえ、このまちの豊かな自然をエネルギー資源として地域に供給し、自給自足の持続可能なエネルギー循環を生み出したいと考えた。また、自然体験会を通して川崎町の豊かさや身近な資源、環境について知ってもらうきっかけをつくりたいと考えた。



敷地の特徴

森林に囲まれ、周囲には宿泊施設や別荘が多数点在している。1番の特徴として、NPO法人 川崎町の資源を活かす会の活動拠点がある。ここでは、川崎町の食とエネルギーの100%自給を実現するために様々な自然体験会が行われている。また、エネルギー自給を可能にいくため、木の伐倒講習会などの様々な自然体験イベントが行われている。このような自然豊かな土地の活用と、自然体験の拠点とを関連付けた住宅を設計した。